

親子の学び応援講座



〈 目 的 〉 本県における家庭教育の推進に向けて、会津美里町立新鶴こども園保護者会を対象に講座を行い、親子の学び・家庭での実践活動を支援する。

会津美里町立新鶴こども園保護者会における講座

- ◆と き 令和6年7月4日（木）
- ◆と ころ 会津美里町立新鶴こども園 遊戯室
- ◆参加者 69名（保護者、教職員）
- ◆講 演 演題：「子どもに“愛”が伝わっていますか」
～「聞く」「語る」、心を通わすコミュニケーション～
講師：親業シニアインストラクター 大屋 弘子 様

1 <テーマ設定の理由及び実践活動のねらい>

子育てに関する講演会を通し、親子のかかわりが深まるきっかけとなるようにすると共に、保護者の子育てに関する関心を高め、家庭教育力の向上を図る。

2 <要 点>

(1) 親業とは？

- アメリカの臨床心理学者トマス・ゴードン博士が1962年に創始
- 親としての役割を効果的に果たすための訓練

(2) 「子ども」も「親自身」も大切にする関係づくりのために

- 三本柱
 - ・ 子どもの話に耳を傾ける「聞く」
 - ・ 親の本音を語っていく「語る」
 - ・ 対立があったら「話し合う」

(3) 子どもの心を閉ざす対応

- コミュニケーションをこわしやすい「お決まりの12の型」

(4) 子どもの心を開く聞き方

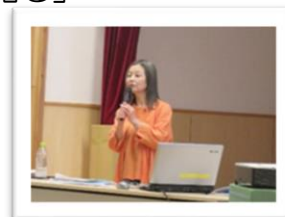
- 子どもの話を聞く基本姿勢
- 大切なのは「能動的な聞き方」

(5) 子どもの心に届く話し方

- わたしを主語にする「わたしメッセージ」で素直に自分を語る

(6) 対立したときの解決法

- 「わたしメッセージ」と「能動的な聞き方」を駆使して対立点を明確にし合った上で解決策を出し合い、話し合いながら対立を解く



参加者の感想から

- 子どもの思いを聞くことはもちろん、自分の気持ちを伝えるコミュニケーションの大切さを教えていただいた。子どもが自己決定できる関わり、言葉かけを意識し、今後も保育に取り組んでいきたいと思う。
- 子どもの話を聞く姿勢がまずできていなかったと反省した。「言い方が変われば、受け取り方も変わる」分かっているもなかなかできていないと思った。かわいい我が子にもっと寄り添って、お互いが幸せと思える毎日にしたい。